

# あべのだより

大阪市阿倍野区松崎町 3-6-25

TEL: 06-6621-6024

FAX: 06-6621-6070

e-mail: abeno-church@chic.ocn.ne.jp

HP: <http://catholic-abeno-church.net>

カトリック阿倍野教会 広報委員会

教会維持費献金振替口座 郵便振替:口座 No.00950-3-265515 加入者名:カトリック阿倍野教会

## 息と土

カトリック阿倍野教会 主任司祭 山本英明

人間は息と土からなる。創世記から読み取るに、人間は大地の土としては被造物共通であるが、神様から特別に各々、直接、息を吹きかけられて、生きるものとなる。それゆえ人間は、その息ゆえに特別に神様に愛され、似た者としての尊厳があると解釈されてきた。

息は霊でもある。聖霊は神様から送られる息吹である。なので、神様である聖霊は人間の息、霊に働きかける。神様に似た者である息、霊に働きかけるのである。肉によるのではなく、霊によって生きることが薦められる根拠がここにある。しかし、善悪の知識の木の実を食べた途端、自分が裸である、自分の身体のことばかり気にし始め、今現在、信仰を受け入れた者に与えられているはずの聖霊の働きにも関わらず、それに気づかず、自分の息、霊にすら気づかない。

もし、肉ばかり気になるこの世において、霊である神様によって生きれば、すなわち神様のみ言葉によって生きれば、肉による悩み苦しみは和らぐ。そんなことにも気づかないから、肉に従って、人間の知恵に従って、あーあるべきだ、こうあるべきだと悩み苦しむ。しかし、そもそもの人間はそうでなかった。自分に肉があっても、裸であることを知らず、神様のみ言葉を直接聞くことができた。

人間は善として造られた以上、いつまでも息と土からなる。私たちはまた息と土からなる人間として復活する。しかし、そのときには肉は霊に従い、神様のみ言葉を聞き入れる真の人間となるであろう。しかし、この世において、少しでもそれに近づくことは救いの先取りになると信じている。神様はこの世でも人間が救われるのを望んでおられる。